



雪印メグミルク

2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2018年11月8日

上場会社名 雪印メグミルク株式会社 上場取引所 東 札
 コード番号 2270 URL <http://www.meg-snow.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 啓治
 問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部長 (氏名) 渡辺 滋 TEL 03-3226-2124
 四半期報告書提出予定日 2018年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績 (2018年4月1日~2018年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	305,369	0.6	9,587	△13.4	10,253	△13.0	6,422	△10.6
2018年3月期第2四半期	303,569	1.4	11,072	1.7	11,781	6.0	7,183	△2.9

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 6,941百万円 (△8.8%) 2018年3月期第2四半期 7,614百万円 (4.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	94.71	—
2018年3月期第2四半期	105.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	354,810	161,811	44.9	2,350.02
2018年3月期	351,240	157,338	44.1	2,286.11

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 159,349百万円 2018年3月期 155,021百万円

(注) 2019年3月期第1四半期の期首より、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を適用しており、2018年3月期については遡及適用後の数値を記載しています。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	—	—	40.00	40.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期 (予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	605,000	1.5	19,000	△1.9	20,000	△4.7	13,500	0.9	199.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	70,751,855株	2018年3月期	70,751,855株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	2,944,090株	2018年3月期	2,941,743株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	67,808,930株	2018年3月期2Q	67,830,930株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

四半期決算補足説明資料は四半期決算短信に添付しております。

当社は、2018年11月8日（木）にアナリスト、機関投資家向け説明会を開催する予定です。

この説明会で配布する決算説明会資料については、同日当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	10

(補足説明資料)

2019年3月期 第2四半期決算短信 補足説明資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、景気は緩やかに回復しており、今後もその継続が期待される一方で、通商問題の影響や海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響に加えて、国内における相次ぐ自然災害の経済に与える影響に対する懸念があります。

個人消費は雇用・所得環境が改善する中で持ち直しておりますが、節約の動きも継続してみられます。食品業界においては、コストの上昇を価格に転嫁する動きも見られるほか、機能や低価格をそれぞれ訴求した商品の投入も見られるなど、消費者の価値観が多様化する中で様々な需要が生まれております。

このような経営環境下、当社グループは「グループ中期経営計画2019」に基づき、収益基盤の複数化およびキャッシュ・フローの最大化に取り組み、機能性ヨーグルトなどの高付加価値商品およびチーズなどの主力商品の販売拡大に伴うプロダクトミックスの改善、ならびにニュートリション事業分野におけるマーケティング投資の継続による規模の拡大など、将来の成長に向けた収益基盤の強化等に努めました。

なお、9月に発生した北海道胆振東部地震により当社サプライチェーンへの影響が一部で生じております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の連結経営成績につきましては、売上高は305,369百万円（前年同期比0.6%増）、営業利益は9,587百万円（前年同期比13.4%減）、経常利益は10,253百万円（前年同期比13.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6,422百万円（前年同期比10.6%減）となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、ルナ物産株式会社は重要性が増したため、持分法適用関連会社としております。

セグメントごとの当第2四半期連結累計期間の業績は次のとおりです。なお、セグメントごとの売上高につきましては、外部顧客に対する金額を記載しております。

① 乳製品

当セグメントには、乳製品（チーズ、バター、粉乳等）、油脂、ニュートリション事業（機能性食品、粉ミルク等）等の製造・販売が含まれております。

売上高は117,457百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益は5,370百万円（前年同期比5.0%減）となりました。

売上高は、バターは安定供給に引き続き取り組む中で堅調に推移しました。油脂は市場の低迷が続き減少しておりますが、2018年3月より家庭用のマーガリン類の商品で、トランス脂肪酸を多く含む部分水素添加油脂を使用しない配合を実現しており、今後もトランス脂肪酸低減の取り組みにより売上の確保に努めてまいります。チーズは国内乳資源の需給を踏まえた販売に取り組んだことなどから減少しました。機能性食品は特定保健用食品の毎日骨ケアMBPがマーケティング投資の継続により伸長しました。これらの結果、当セグメント全体では微減収となりました。

営業利益は、プロダクトミックスの改善および価格改定・容量変更の実施に伴う販売単価差が増益要因としてあったものの、乳価改定等の影響による原材料コストの増加や固定経費の増加に加えて、9月に発生した北海道胆振東部地震の影響もあり減益となりました。

② 飲料・デザート類

当セグメントには、飲料（牛乳類、果汁飲料等）、ヨーグルト、デザートの製造・販売が含まれております。

売上高は145,281百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益は2,224百万円（前年同期比36.0%減）となりました。

売上高は、ヨーグルトは機能性表示食品として新発売した「恵 megumi ガセリ菌 S P 株ヨーグルト ドリンクタイプ ベリーミックス」、「恵 megumi ガセリ菌 S P 株ヨーグルト ドリンクタイプ マスカット」や、特定保健用食品としてリニューアル発売した「恵 megumi ガセリ菌 S P 株ヨーグルト」などの当社保有の乳酸菌「ガセリ菌 S P 株」の機能訴求のためのプロモーション活動を強化したことなどから好調に推移しました。飲料は市場低迷の影響もあり減少しました。デザートは新商品およびリニューアル品が牽引したことなどから堅調に推移しました。これらの結果、当セグメント全体では増収となりました。

営業利益は、機能性ヨーグルトの販売が拡大したものの、積極的なプロモーション活動に伴い宣伝促進費が増加したこと、オペレーションコストや減価償却費が増加したことなどから大幅な減益となりました。

③ 飼料・種苗

当セグメントには、牛用飼料、牧草・飼料作物種子、野菜種子の製造・販売が含まれております。

売上高は23,906百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益は1,215百万円（前年同期比10.4%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間は、配合飼料の販売価格上昇等により当セグメント全体では増収となった一方で、牧草・飼料作物種子の売上減および配合飼料の販売物量減や原価上昇等の影響により減益となりました。

④ その他

当セグメントには、共同配送センター事業、不動産賃貸事業等が含まれております。

売上高は18,724百万円（前年同期比2.6%増）、営業利益は714百万円（前年同期比35.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

第1四半期連結会計期間の期首より、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

なお、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

① 資産、負債および純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して3,570百万円の増加となりました。

これは主に、受取手形及び売掛金が増加した一方で、現金及び預金や商品及び製品、機械装置及び運搬具が減少したことなどによります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して902百万円の減少となりました。

これは主に、電子記録債務が増加した一方で、長期借入金や支払手形及び買掛金が減少したことなどによります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して4,473百万円の増加となりました。

これは主に、利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、12,860百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの原因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、11,886百万円の収入（前年同期は10,884百万円の収入）となりました。

前年同期との比較では、主に仕入債務の増減額が減少した一方で、売上債権の増減額やたな卸資産の増減額が減少したことなどにより、1,001百万円の収入増となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、9,131百万円の支出（前年同期は5,841百万円の支出）となりました。

前年同期との比較では、主に有形及び無形固定資産の取得による支出が増加したことなどにより、3,290百万円の支出増となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、3,907百万円の支出（前年同期は10,041百万円の支出）となりました。

前年同期との比較では、短期借入金の純増減額の増加や連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出が減少したことなどにより、6,133百万円の支出減となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月10日の決算短信にて公表した業績予想値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,620	12,923
受取手形及び売掛金	69,302	76,190
商品及び製品	39,632	38,438
仕掛品	1,423	1,621
原材料及び貯蔵品	12,857	12,990
その他	4,694	4,527
貸倒引当金	△405	△404
流動資産合計	142,125	146,287
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	48,039	47,041
機械装置及び運搬具(純額)	56,095	54,927
土地	50,396	50,372
その他(純額)	10,262	11,337
有形固定資産合計	164,794	163,679
無形固定資産	3,921	3,385
投資その他の資産		
投資有価証券	29,326	30,645
繰延税金資産	4,859	4,601
その他	6,817	6,606
貸倒引当金	△604	△395
投資その他の資産合計	40,398	41,457
固定資産合計	209,114	208,522
資産合計	351,240	354,810

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	60,475	59,562
電子記録債務	4,021	5,614
短期借入金	41,827	42,958
未払法人税等	2,259	2,831
賞与引当金	5,208	5,013
その他	26,878	25,834
流動負債合計	140,670	141,814
固定負債		
長期借入金	27,089	25,136
繰延税金負債	651	667
再評価に係る繰延税金負債	3,981	3,975
役員退職慰労引当金	20	20
ギフト券引換引当金	190	184
退職給付に係る負債	8,667	8,640
資産除去債務	1,699	1,721
その他	10,932	10,838
固定負債合計	53,231	51,184
負債合計	193,901	192,998
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	17,585	17,585
利益剰余金	108,186	112,164
自己株式	△4,643	△4,650
株主資本合計	141,128	145,100
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,322	6,812
繰延ヘッジ損益	△163	△93
土地再評価差額金	8,951	8,937
為替換算調整勘定	382	97
退職給付に係る調整累計額	△1,600	△1,505
その他の包括利益累計額合計	13,892	14,249
非支配株主持分	2,317	2,462
純資産合計	157,338	161,811
負債純資産合計	351,240	354,810

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	303,569	305,369
売上原価	229,196	232,144
売上総利益	74,372	73,224
販売費及び一般管理費	63,300	63,636
営業利益	11,072	9,587
営業外収益		
受取利息	10	9
受取配当金	250	252
持分法による投資利益	400	473
その他	641	469
営業外収益合計	1,302	1,204
営業外費用		
支払利息	280	251
寄付金	73	121
その他	239	166
営業外費用合計	593	539
経常利益	11,781	10,253
特別利益		
固定資産売却益	18	19
投資有価証券売却益	7	14
その他	1	73
特別利益合計	27	107
特別損失		
固定資産売却損	93	0
固定資産除却損	437	535
減損損失	102	41
災害による損失	-	614
その他	39	97
特別損失合計	673	1,289
税金等調整前四半期純利益	11,135	9,071
法人税等	3,974	2,508
四半期純利益	7,160	6,563
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△23	141
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,183	6,422

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	7,160	6,563
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	295	490
繰延ヘッジ損益	44	69
為替換算調整勘定	66	△284
退職給付に係る調整額	45	95
持分法適用会社に対する持分相当額	1	6
その他の包括利益合計	454	377
四半期包括利益	7,614	6,941
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,637	6,793
非支配株主に係る四半期包括利益	△22	147

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,135	9,071
減価償却費	7,408	7,744
減損損失	102	41
災害損失	—	614
持分法による投資損益(△は益)	△400	△473
貸倒引当金の増減額(△は減少)	126	△208
賞与引当金の増減額(△は減少)	△288	△192
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△366	△201
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	193	△161
ギフト券引換引当金の増減額(△は減少)	△7	△5
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△117	—
固定資産除売却損益(△は益)	512	516
受取利息及び受取配当金	△261	△261
支払利息	280	251
売上債権の増減額(△は増加)	△11,423	△6,975
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,359	469
仕入債務の増減額(△は減少)	6,484	730
その他	1,278	2,849
小計	13,299	13,808
利息及び配当金の受取額	333	317
利息の支払額	△273	△238
災害損失の支払額	—	△38
法人税等の支払額	△2,474	△1,961
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,884	11,886
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△45	△22
定期預金の払戻による収入	190	502
貸付けによる支出	△233	△25
貸付金の回収による収入	235	2
有形及び無形固定資産の取得による支出	△6,573	△9,727
有形及び無形固定資産の売却による収入	375	70
投資有価証券の取得による支出	△9	△15
投資有価証券の売却による収入	11	47
その他	206	35
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,841	△9,131

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,535	2,246
長期借入れによる収入	1,500	—
長期借入金の返済による支出	△4,307	△3,067
自己株式の取得による支出	△7	△7
配当金の支払額	△2,708	△2,706
非支配株主への配当金の支払額	△0	△2
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△1,424	—
その他	△555	△370
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,041	△3,907
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,968	△1,215
現金及び現金同等物の期首残高	15,940	14,076
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,972	12,860

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日 至2017年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	乳製品	飲料・ デザート類	飼料・種苗	計				
売上高								
外部顧客への売上高	117,760	143,982	23,581	285,325	18,244	303,569	—	303,569
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,085	18	443	7,547	6,137	13,684	△13,684	—
計	124,845	144,001	24,025	292,872	24,381	317,254	△13,684	303,569
セグメント利益	5,653	3,476	1,355	10,485	528	11,014	57	11,072

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、共同配送センター事業及び不動産賃貸事業等が含まれております。

2. セグメント利益の調整額 57百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	乳製品	飲料・ デザート類	飼料・種苗	計				
売上高								
外部顧客への売上高	117,457	145,281	23,906	286,644	18,724	305,369	—	305,369
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,805	41	456	7,303	6,285	13,589	△13,589	—
計	124,262	145,322	24,362	293,948	25,009	318,958	△13,589	305,369
セグメント利益	5,370	2,224	1,215	8,810	714	9,525	62	9,587

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、共同配送センター事業及び不動産賃貸事業等が含まれております。

2. セグメント利益の調整額 62百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。